

## 取組と目標に対する自己評価シート（個票）

※このシートは、目標ごとに作成してください。

保険者名： 有田町

**タイトル** 認知症サポーターの養成

### 現状と課題

高齢化率がおよそ 35%であり、介護保険申請者にも認知症が多くを占める。地域の誰もが認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることができるよう養成していく必要がある。

### 第 8 期における具体的な取組

認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトと協力しながら、実施する。

### 目標（事業内容、指標等）

認知症サポーター養成者数累計 3 年度まで 1,600 名

### 目標の評価方法

認知症サポーター養成者数

## 実績評価（令和 3 年度）

### ■実施内容

令和 3 年度は町内 4 カ所の小学校で計画。コロナの影響で 1 カ所はできず、3 カ所の小学校で実施となった。キャラバンメイトに集ってもらい、90 分の講話と劇で認知症について学んでもらった。受講者数 143 名。これまでに受講したサポーター数 1,598 名。

### ■自己評価結果

感受性の高い小学生に学んでもらうことで、認知症を支援する環境を育むことができた。受講者数は増加しており、今年度は講座だけでなく、広報による普及啓発を実施し、一般住民からの問い合わせや受講したいとの依頼があった。

### ■課題と対応策

平成 29 年度より町内の小学校で認知症サポーター養成講座を行うようになり、サポーター数は年々増加している。しかし、金融機関や民生委員などの団体や一般住民への普及啓発が進んでおらず、今後の課題としては団体への普及啓発があげられる。令和 3 年度の広報による普及啓発により、一般住民から受講したいとの依頼があったが、コロナの影響で実施できず、令和 4 年度につなげたい。

